

暮老連 ニュース

第87号

暮老連の目的

ボケ防止のために、老人団体同好者の誰もが
「暮を樂じる」ことが出来よう。機会と場所
を確保するために相談会、囲碁を通じて親睦
を図り、更には、より良き福祉社会の建設に貢
献することを意願とする。

発行日 平成9年4月8日
発行所 八王子の暮を樂じた老人連
〒193 八王子市初沢町1434-3
TEL (0426) 66-3754
発行人 熊崎正一

第1回ボケ防止のための暮春围棋大会

日 時	平成9年3月23日午前9時
会 場	元八王子市民センター(上志木町747-1, 電51-3960)
主 催	元八王子市围棋同好会(会長山下則文, 上志木町353-19, 電51-3835)
共 催	東方寿围棋同好会(会長高橋実, 千葉市1168, 電37-6753)
後 援	八王子の暮を樂じた老人連(暮老連)
参 加 資 格	八王子市, 八王子市教委毎校会, 日本棋院 年の元八王子事務所, 東方事務所管内及び, 美山町に在住している60才以上 10級以上の围棋爱好者
参 加 費	600円(年会費を除む)
競 技 方 法	5マッチ制を行い, 各マッチ共3位までの入賞者に賞状を授与する。
特 典	成績により千葉大蔵に推薦する。 △4月24日開催の八王子大会 次の通り。
競技成績	

Aクラス(4段以上)成績表

平澤

3	1	2	1	3	2	1	2	0	1	2	2	2	0	引	勝	敗
0	X	0	0	0	0	X	0	X	X	X	0	X	X	X	三	
国	佐	山	延	高	清	戸	西	在	大	延	清	佐	中	引	四	
村	藤	千	平	根	上	泉	山	原	川	根	水	源	村	若	五	
0	0	X	X	0	0	X	X	X	X	⑦	⑧	0	0	X	六	一
在	中	地	消	火	山	高	佐	位	不	天	延	清	戸	引	四	
原	村	繁	上	川	下	高	原	清	義	義	平	水	泉	若	五	
0	X	0	X	0	X	0	0	X	X	0	X	0	X	X	六	一
戸	在	消	佐	中	清	佐	山	大	義	佐	延	清	戸	引	四	
山	原	上	泉	村	水	源	下	川	高	原	山	泉	村	王	五	
15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.	
地	消	佐	中	清	佐	山	大	山	正	木	國	戸	高	延	六	參
村	繁	上	泉	村	水	源	下	川	千	山	根	村	泉	橋	平	七
5	4	4	4	6	5	6	6	4	5	5	4	6	5	5	後	
地	消	佐	中	清	佐	山	大	山	正	木	國	戸	高	延	六	參
村	繁	上	泉	村	水	源	下	川	千	山	根	村	泉	橋	平	七
5	4	4	4	6	5	6	6	4	5	5	4	6	5	5	5	後

B 1ラス(2段・3段)成績表

予選

決勝戦

優勝

原 峰

原 峰
山 峰
山 峰

三位決選戦

山 峰
田 峰
峰 総
3 2原 山 山 山
島 田 峰 田
信 天 明 徒 実
2 3 2 3

1	2	2	1	3	1	1	1	0	3	2	2	計	勝敗
②	×	0	X	④	×	0	X	X	0	0	0	勝	三回戦
不	山	藻	長	不	橋	島	山	高	原	平	西	敗	回戦
戴	田	(奥)	森	戴	本	崎	山	原	原	原	谷	勝	回戦
X	0	X	0	0	0	X	X	0	X	0	X	敗	二回戦
西	原	原	中	平	高	藻	山	長	山	山	島	勝	回戦
谷	木	崎	田	田	橋	森	(原)	田	崎	原	崎	勝	回戦
X	0	0	X	0	X	X	0	X	0	0	X	敗	一回戦
原	中	西	橋	原	新	山	田	島	長	山	島	勝	回戦
鳥	田	谷	木	木	田	崎	原	崎	崎	山	崎	勝	回戦
14	3	12	11	10	9	2	7	6	5	4	3	2	1
中原	橋	西	橋	田	山	藻	高	平	島	山	山	長	山
田	島	本	石	也	中	田	森	橋	日	田	崎	島	長
安	信	一	草	雄	立	重	光	勝	美	緑	谷	名	山
芽	夫	一	草	雄	明	喜	二	一	美	緑	谷	加	者
3	2	2	2	3	3	2	2	2	2	3	2	2	1

C 1ラス(初段・準初段)成績表

予選

決勝戦

優勝

中 村

優勝
平 村 中 村

三位決選戦

八 木

八 菊 地
木 井 地 村
東 之 助 久 喜 一
助 助 久 喜 一八 宇 菊 中
木 井 地 村
東 之 助 久 喜 一
助 助 久 喜 一

3	1	2	2	1	3	2	0	1	2	計	勝敗	
④	×	③	0	X	0	0	X	0	X	勝	三回戦	
不	菊	不	重	宇	山	江	キ	王	稻	八	対局者	
戴	地	戴	原	井	上	石	シ	井	菜	木	勝	
0	④	0	X	X	0	0	X	X	X	0	敗	
真	不	王	山	八	重	稻	中	菜	木	中	2回戦	
辺	戦	井	上	木	原	菜	村	地	稻	井	勝	
0	X	X	0	④	0	X	0	X	X	0	敗	
立	中	平	中	重	菊	八	稻	菜	山	五	回戦	
石	村	井	桐	立	木	原	菜	木	菜	村	勝	
12	11	10	9	2	7	6	5	4	3	2	1	
中	立	中	宇	重	穂	八	菊	裏	稻	王	山	参
村	石	桐	井	原	山	木	地	辺	菜	井	上	加
健	延	正	久	豊	井	裏	守	保	正	長	利	名
一	洋	正	久	豊	已	多	助	吉	半	紹	博	者
初	舞	1	1	初	菊	1	1	1	1	1	1	初段

(2)

D-Eクラス(2級~10級)成績表 年度

優勝	次勝	第3位	飯田	横浜小飯山	横浜小飯山	102321213	優勝
小峯	川	飯田	飯田	横浜	横浜	X X 0 0 0 0 X X ④	三回戦
小峯	川	飯田	飯田	横浜	横浜	X X X ② 0 X 0 0 0	二回戦
川	横浜	飯田	飯田	横浜	横浜	横 大 小 不 背 横 大 不 背	二回戦
飯田	横浜	飯田	飯田	横浜	横浜	山木 峰 田 鶴川 本 峰 田 鶴川 本 峰	二回戦
飯田	横浜	飯田	飯田	横浜	横浜	④ X 0 0 X X 0 X 0 0	一回戦
飯田	横浜	飯田	飯田	横浜	横浜	不 背 横 小 飯 内 俊 大 不 背	一回戦
飯田	横浜	飯田	飯田	横浜	横浜	川 本 峰 田 峰 田 山 木 峰	二回戦
						9 8 7 6 5 4 3 2 1 HO	
						大 鶴 田 飯 小 内 小 大 横 久	参考
						麻 本 川 田 鶴 田 峰 木 山 久	
						伴 俊 芙 莉 葵 安 葵 久	参考
						堀 宜 成 俊 一 夫 安 葵 久	
						5 4 3 2 2 5 2 3 4 級	参考

×7回ボクシングのための落葉園墓地和相木会場内

日 期 平成9年5月11日午前9時
 会 場 大和田市民センター（木和田町5-9-1, 電45-8980）
 主 催 大和田市葬儀同好会（会長 入木義光、大和田町5-343-301, 電42-
 参 加 久川寺園墓地同好会（会長 松田礼治、久保山町1-93-303, 電92-3
 1-3）の墓地業者老人連合（藤井達）
 後 援 入江市教育委員会、日本横綱
 参加資格 大和田町、守山町、瀬戸町、明神町、平岡町、本郷町以来の各町
 市の久川寺園墓地内に在住21万60方以上、10級以上の同窓会員
 600人（年賀代金含む）
 参加費 673人加入資格（3位まで）を満足し、黄札返却与え
 競技方法 戦 勝敗
 戦 勝 戦 勝
 組合結果 平成9年5月1日（決着）

2人 上

(3)

第7回水害防止のための啓発団体由井大會の開催内

日 時 平成9年5月25日午前9時
 会 場 由井市民センター(由井町702-1, 電35-8028)
 主 催 由井青年農同好会(会長 矢山和義, 小此江町807-1, 電26-3618)
 兼 催 由井青年農同好会(会長 石田尚裕, 敷田町2-45-12, 電64-2833)
 八王子の農業課(元老人連合(農老連))
 後 援 八王子市, 八王子市教育委員会, 日本棋院
 参加資格 市の由井事務所管内及び字守町, 上野町, 万町, 由町, 緑町, 敷田町,
 追分町, 八木町, 小門町に在住21360戸以上, 10歳以上の団体団員
 参加費 600円(年会員は会員料)
 競技方法 5人2人別々入賞者(3位まで)を決定し, 賞味金15万円。
 特 殊 競技大会に推薦の方。
 申込締切 平成9年5月15日(必着)

以 上

第8回団体対抗戦参加者(3回戦4月20日)

順位	姓	名	順位	姓	名	順位	姓	名	順位	姓	名	
<u>第一回</u>			<u>大和田</u>			<u>北野</u>			<u>中野</u>			
6	赤川	日星	6	松谷	春夫	6	小林	信三	6	佐藤	直人	
5	神宮寺	敏郎	5	集谷	善次	5	石川	正	5	中田	義	
4	水谷	謙治	4	喜田	政治	4	山本	昭路	4	園田	康明	
3	中島	義彦	3	辻田	倫英	3	山本	琳	3	今井	竹夫	
2	石橋	久彌男	2	初	石田	利雄	2	横溝	正	2	小橋	久幸
初	初	福庭	修	初	初	横谷	浩	初	初	藤	告男	
		初	初	初	初	佐藤	信昭			初	初	
<u>田木</u>			<u>元八</u>			<u>由井</u>			<u>辰彦</u>			
6	佐江	峻	6	酒井	和男	6	三上	靖彦	6	小西	敏	
5	鈴木	良平	5	大川	博男	5	喜田	高展	5	八	佐藤	
4	松浦	辰寿	4	西橋	美	4	大久保	九一	4	堤原	和利	
3	山際	敏	3	小田	実	3	片山	隆輔	3	波令	昭男	
2	佐久木	俊郎	2	西谷	幸	2	福島	達也	2	初	藤	
初	初	吉浦	直人	初	初	金田	政治	初	初	猪	雄昇	

注: 上段主催4人

(4)

第11回藤原連研修会用碁大会(平成9年3月8日)

Aクラス(3段以上)成績表

予選

優勝
決戦

新保

三位決定戦
準優勝
安藤
新保

地区
清水
倍率
3 5

地区
清水
倍率
3 5

	2	2	1	1	2	1	3	0	2	1	1	2	0	3	2	針	勝
0	X	0	X	X	X	0	X	X	0	0	X	0	0	X	0	0	勝
松	清	加	大	新	池	藤	金	美	可	西	嶺	中	佐	守	橋	对	三回戦
井	水	藤	原	保	田	園	井	村	川	山	田	高	藤	勝	湯	若	勝
0	0	X	X	0	0	X	0	X	X	X	X	X	0	0	X	0	勝
佐	西	市	浦	松	嶺	中	奥	金	嶺	新	池	守	大	橋	加	对	二回戦
藤	山	川	水	井	田	保	井	園	保	田	藤	原	易	藤	若	若	勝
X	0	X	0	0	X	0	X	X	0	0	X	0	X	0	X	0	勝
安	安	勝	勝	藤	嶺	嶺	新	松	池	金	松	守	大	浦	對	一回戦	勝
市	市	天	場	藤	村	國	田	保	田	井	島	藤	山	原	河	易	若
藤	藤	天	場	藤	村	國	田	保	田	井	島	藤	山	原	水	若	若
17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.
千	南	守	佐	藤	奥	新	嶺	池	农	中	金	西	加	浦	火	大	長
川	川	藤	藤	藤	藤	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
隆	久	要	政	益	益	益	礼	高	高	義	源	孝	春	春	名	若	若
一	勝	雄	吉	明	節	章	火	明	達	彦	志	二	男	勇	靜	若	若
3	3	3	5	3	4	3	5	3	3	4	3	3	4	3	5	4	5
3	3	3	5	3	4	3	5	3	3	4	3	3	4	3	5	4	5

Bクラス(初段・2段)成績表

予選

優勝
決戦

佐藤

三位決定戦
準優勝
二見
佐藤

地区
吉田
四郎
22

地区
吉田
見松
四郎
22初

	0	3	1	2	2	1	2	2	1	1	0	1	2	3	針	勝	
X	0	0	0	X	X	0	X	X	0	0	X	X	X	0	0	勝	
二	岸	石	吉	植	小	佐	藤	當	紅	X	佐	小	吉	植	火	三回戦	
尾	見	井	橋	田	松	勝	藤	田	木	X	久	東	渡	江	若	勝	
X	0	X	0	0	X	0	0	X	X	X	X	X	0	0	X	勝	
植	小	石	岸	吉	當	練	在	N	佐	佐	高	二	海	堀	火	二回戦	
笠	板	原	橋	井	圓	尾	田	勝	久	藤	藤	見	笠	口	本	局	
X	0	X	X	0	X	0	0	X	0	X	0	X	0	X	0	勝	
小	練	佐	植	不	石	高	二	佐	小	吉	藤	當	吉	吉	火	一回戦	
勝	尾	藤	工	松	木	橋	見	久	東	藤	勝	笠	吉	吉	火	勝	
17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.
宇	佐	佐	練	植	藤	吉	大	高	當	佐	小	福	石	當	吉	火	終
井	深	尾	板	口	橋	木	見	楓	楓	久	勝	藤	佐	田	吉	火	加
吉	四	四	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	正	剛	政	利	一	吉	火	若
久	男	男	研	芭	芭	芭	芭	芭	芭	一	頭	一	男	勝	好	男	若
4	11	11	11	11	11	11	11	11	11	2	9	11	2	9	11	2	5
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	2	9	11	2	9	11	2	5

(5)

C 7人(1級~3級)成績表

予選

優勝戦		成績表																										
才三位	柳	川	九	木	山	旅	柔	田	井	浦	津	津	田	口	才	遠	石	岸	口	野	居							
X	X	O	X	X	X	X	O	X	O	X	X	X	O	X	O	O	X	X	O	X	一							
内	小	佐	近	小	旅	谷	不	田	小	佐	近	中	才	河	高	二	高	二	高	二	高							
林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林							
山	國	旅	田	中	孝	旅	岸	口	木	田	糸	川	凡	野	田	組	井	有	井	有	井							
O	X	X	O	O	X	O	X	O	X	X	O	X	O	O	X	O	O	X	O	X	一							
山	徳	小	谷	木	小	内	寅	小	伊	石	穂	三	義	田	底	云	武	野	立	立	立							
林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林							
津	浦	野	津	野	岸	山	口	綿	麻	孔	升	松	田	中	川	田	希	口	不	石	居							
26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	必		
後	佐	小	中	水	内	小	柳	周	伊	小	酒	石	植	高	三	吉	田	在	石	底	野	武	立	立	立	立	立	
藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤
徳	富	東	貢	湯	済	貢	伴	信	能	波	浦	益	森	進	正	於	秀	光	根	勝	悦	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
富	大	雄	夫	男	照	一	惟	雄	谷	二	耕	喜	永	仰	一	惟	二	惟	三	湯	清	久	子	達	二	名	名	名
23	13	3	1	2	3	1	2	3	3	1	3	3	2	1	1	2	2	3	1	3	3	1	2	2	2	2	2	2

D 7人(4級~10級)成績表

予選

優勝戦		成績表																			
才三位	柳	川	1	1	3	2	2	1	0	2	2	1	2	1	3	当	勝				
X	X	O	X	O	O	X	X	X	O	O	O	O	O	O	O	O	三	同	戦		
雁	伴	板	猿	伴	高	大	柳	田	不	山	綿	福	弓	有	有	有	三	同	戦		
野	鷺	不	辺	(流)	藤	貢	谷	中	威	千	野	理	有	有	有	有	二	回	戦		
X	O	O	O	O	X	X	O	X	X	X	X	X	X	X	X	X	二	回	戦		
那	火	伴	綿	大	松	新	不	威	山	四	猿	健	徐	吉	有	有	二	回	戦		
亞	厘	野	野	貢	不	顛	威	千	中	辺	野	忍	吉	有	有	有	二	回	戦		
O	X	O	X	X	O	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	二	回	戦		
田	伊	新	山	猿	猿	稻	綿	伊	李	松	文	柳	大	吉	有	有	二	回	戦		
牛	流	柳	柳	不	辺	野	野	野	李	李	谷	谷	谷	谷	谷	谷	二	回	戦		
15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	N.O.	參	加	者			
里	伊	田	山	高	麗	猿	綿	猪	个	伊	文	松	大	柳	大	柳	大	柳	大	柳	
羅	中	千	千	麗	野	辺	野	姫	木	羅	姫	姫	姫	姫	姫	姫	姫	姫	姫	姫	姫
綱	忠	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火
綱	忠	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火	火
5	7	8	6	4	4	6	8	6	4	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

(6)

三位決定戦

柳

優勝戦

石

田

五石田野

保

反光

二男

23

山松千

佐木

和三郎

6火

高松柳千谷

八佐和三郎輝

重神神弓

4646

三位決定戦

柳

優勝戦

松

下

山松千

佐木

和三郎

6火

No. 2

附註 幸運の御湯と暖き御心の御祝を
御厚い御人(奥)甚恭り厚御蒙す御祝の趣意
大慶の御事より
おひさし甚だぞニエスノ其の事より
御送付の事アマニア会リ本
村達御贈り御送付の事アマニア会リ本
老人園甚だ人会ノ開催の間ヨリ件レム瑞葉
あり。いさかウエモリ御事御筆ととて
治可也。
老ノ御中古の件ハ、まうい道地とし形で手本
日本皇氣とて何等の特徴もしてありとて
ほん音々御多は理より方い且えとつてシテ
詔議。よしからと考えていたが
私是と述べて御と経國運や商工令義所
等の本末の使命からて、このよう問題と拝み
込玉は少し日昌がてあらうかと曰へゝ事す。
内最近の若々人か因基若放れとしてる理由の
基は老人見立と言ふてあり、然々とては今後
内若者及ハ、かくシテマジモ如何にて松城
するか。大半は謀題です。基ハ老人ノボル
防山ノ行上モ、あらシシトシノク人達の口にす
とニシテ、國基界リの特事モシガ何キニ成ヌ
端合一ノ事モ二考セラ要するニシテ口にす
更に現名ノ日本相院ノ御改就役以テ、
資金問題の目次明確ハ、内山に
手を引け山せん。
色々御用事
一ツ一ツ御解説を
おこなつておこう。

No. 1

御詔書 幸運の御湯と暖き御心の御祝を
御厚い御人(奥)甚恭り厚御蒙す御祝の趣意
大慶の御事より
おひさし甚だぞニエスノ其の事より
御送付の事アマニア会リ本
老人園甚だ人会ノ開催の間ヨリ件レム瑞葉
あり。いさかウエモリ御事御筆ととて
治可也。
老ノ御中古の件ハ、まうい道地とし形で手本
日本皇氣とて何等の特徴もしてありとて
ほん音々御多は理より方い且えとつてシテ
詔議。よしからと考えていたが
私是と述べて御と経國運や商工令義所
等の本末の使命からて、このよう問題と拝み
込玉は少し日昌がてあらうかと曰へゝ事す。
内最近の若々人か因基若放れとしてる理由の
基は老人見立と言ふてあり、然々とては今後
内若者及ハ、かくシテマジモ如何にて松城
するか。大半は謀題です。基ハ老人ノボル
防山ノ行上モ、あらシシトシノク人達の口にす
とニシテ、國基界リの特事モシガ何キニ成ヌ
端合一ノ事モ二考セラ要するニシテ口にす
更に現名ノ日本相院ノ御改就役以テ、
資金問題の目次明確ハ、内山に
手を引け山せん。
色々御用事
一ツ一ツ御解説を
おこなつておこう。

No. 3

御詔書 幸運の御湯と暖き御心の御祝を
御厚い御人(奥)甚恭り厚御蒙す御祝の趣意
大慶の御事より
おひさし甚だぞニエスノ其の事より
御送付の事アマニア会リ本
老人園甚だ人会ノ開催の間ヨリ件レム瑞葉
あり。いさかウエモリ御事御筆ととて
治可也。
老ノ御中古の件ハ、まうい道地とし形で手本
日本皇氣とて何等の特徴もしてありとて
ほん音々御多は理より方い且えとつてシテ
詔議。よしからと考えていたが
私是と述べて御と経國運や商工令義所
等の本末の使命からて、このよう問題と拝み
込玉は少し日昌がてあらうかと曰へゝ事す。
内最近の若々人か因基若放れとしてる理由の
基は老人見立と言ふてあり、然々とては今後
内若者及ハ、かくシテマジモ如何にて松城
するか。大半は謀題です。基ハ老人ノボル
防山ノ行上モ、あらシシトシノク人達の口にす
とニシテ、國基界リの特事モシガ何キニ成ヌ
端合一ノ事モ二考セラ要するニシテ口にす
更に現名ノ日本相院ノ御改就役以テ、
資金問題の目次明確ハ、内山に
手を引け山せん。
色々御用事
一ツ一ツ御解説を
おこなつておこう。

全日本老人園基大会に関する 陳情書について

日本模院副理事長 羽野 敏政
の御返答書を掲載致しました。

御指摘された件については、至極御尤
セと納得してたり、例により老いの一微々
表現不足が禍根を招いたものと自覚し
反省しておる所のとて、御容赦下さい。
但し、越のために申し訳ござり便急かが、
基走速は、有職者の老人団体であり、そ
の目的的、『『虐待防止のため』』相協力
し、園務を通じてより良き福祉社会の建設
に貢献する』と決めております。

具体的に申し上げまると、近年退職後、依
い銀位の方々は、基を打つ場所は憲批
か、止めざるを得ない窮屈に追込まれております。
これらの人達が、本がいいめく『『虐待防止法』』
を与えるために一肌脱ぎと云ふことです。
是非、御協力下さい。

この際、日本模院に立ち止って頂のうれい、
の困難は解消致しません。

(7)

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成九年の初春をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、全国各地でお年寄りや乳幼児が、病原性大腸菌O-157による集団食中毒の猛威に見舞われたことがテレビや新聞紙上にぎわしましたが、この事例を通して、行政の適切な対応が第一であることを痛感しましたが、同時に、家庭での健康保持も同じように重要なこと再認識させられました。

高齢者福祉を実現するにあたっても、保険や医療の制度もさることながら、「自助・自立」の精神も必要となります。その意味で、老人クラブ活動においても、積極的に参加することが、活力ある長寿社会を作り上げることに通ずると確信しております。

八老連におきましては、現在三百六十八団体の単位クラブが市内全域で結成され、会員数も一万余人に達しております日々、様々なレクリエーションや社会奉仕活動を行い、会員相互の交流を深めると同時に、地域社会に貢献されていることに対し、心から敬意を表するものでございます。

私は、高齢者の方々が、生きがいを持って暮らせる地域社会を築き上げ、次代に引き継いでいくことを目指して、今後とも全力を挙げてまいります。

皆様も、その経験と知識をもとに、明るく豊かな社会づくりに、積極的に参加されることを期待しております。今後ともなお一層のご理解ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

終わりに、会員の皆様のご多幸と



年頭に寄せて

八王子市長 波多野 重雄

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成九年の初春をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、全国各地でお年寄りや乳幼児が、病原性大腸菌O-157による集団食中毒の猛威に見舞われたことがテレビや新聞紙上にぎわしましたが、この事例を通して、行政の適切な対応が第一であることを痛感しましたが、同時に、家庭での健康保持も同じように重要なこと再認識させられました。

八老連におきましては、現在三百六十八団体の単位クラブが市内全域で結成され、会員数も一万余人に達しております日々、様々なレクリエーションや社会奉仕活動を行い、会員相互の交流を深めると同時に、地域社会に貢献されていることに対し、心から敬意を表するものでございます。

私は、高齢者の方々が、生きがいを持って暮らせる地域社会を築き上げ、次代に引き継いでいくことを目指して、今後とも全力を挙げてまいります。

皆様も、その経験と知識をもとに、明るく豊かな社会づくりに、積極的に参加されることを期待しております。今後ともなお一層のご理解ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

終わりに、会員の皆様のご多幸と

波多野八王子市長殿 定陳特書について

各地区単位の老人会と、本部連携室の会員が、4月以降より毎月定期報告書類を郵送する手帳へ依つており、2月には改めて2月15日付陳情書により定期報告元に付いた。

その内容は、停年退職後、老人会と團體部がないため、基準を満たさずされている高齢者達は、「ボランティア候補者」とと云われており、唯一の打開策として各老人会に團體部の開設を申請する以外に手が無いので「積極的早期対応を願いしあうと云う陳情書」だ。

それに、老人会問題に関しては、平成3年3月1日以後以前の老人クラブの運営基準では、趣味団体に團體部構成が入っていない又補助金認定基準では、「単なる親睦的、娛樂的懇親に基づいては、対象客層から除外」とあり、老人会には團體部開設を認めた形で、团體部構成が出来てから止めた。

然るに、平成3年3月1日以後の改革条件によれば、「團體部構成は趣味」として認められ、補助金認定基準による「経費除外規定」も削除されておりまつた。更に、ボランティア問題(介護問題)が団體部として登場しており、ボランティア問題が最も多く問題化しているようである状態です。

この機会に際し、御参考を以つて、特別な御配慮を期待している次第です。

(8)

(1) 平成9年1月25日

八王子市老人クラブ連合会会報

八老連の組織 支部数 19 クラブ数 268クラブ 会員数 20,178人 加入率 25%	<h1>八老連</h1>	発行所 八王子老人クラブ連合会 八王子市社会福祉協議会内 (八王子市元本郷町3-24-1) 監行人 椎葉嵯峨雄 編集人 高野光義 印刷所 ヒラカ印刷社
---	--------------	---

老人会の現状について

八老連会長椎葉嵯峨雄氏の年齢の御挨拶をそのまま掲載致しました。

老人会の現状が端的に表現されており、補足する余地は全くありません。

椎葉会長の御挨拶には、今まどの会長さんとは一味違った感動を覚えており、老人世代に自立精神を普及し、明るく豊かな社会づくりに貢献されんことを期待致しております。



年頭のご挨拶

八老連会長 椎葉嵯峨雄

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはお忙やかに佳き新春をお迎えおられたことと心からお慶びを申し上げます。

歴代の会長、役員の方々が築かれた伝統を受け継ぎ、多くの人達の援助を戴き乍ら、

一、市の補助金について

会員七〇名までのクラブには二八八、〇〇〇円、七二名

以上のクラブには二九四、〇〇円の補助金を戴いております。

七〇名以下七一名以上とだ

け区分されているので、会員数によつて金額を考慮して戴けないでしょか、例えは七

〇名では一人当り四、一四

円、四三名で六、六九八円と

なり七一名では四、一四一円と

一二六名では二、三三三円と

なり、一人当りの補助額の最

高と最低の差額は実に、四、

三六五円であります。なお前

記の会員数四三名、一二六名

八老連の運営に努めておりましたが、未だ日も浅く大した成

果も挙がってはいませんけれ

ど、新年に当り紙上を借りて

新年明けましておめでとう

ございます。会員の皆様には

お忙やかに佳き新春をお迎え

おられたことと心からお慶

びを申し上げます。

新規も挙がってはいませんけれ

ど、新年に当り紙上を借りて

八老連の運営に努めておりま

すが、未だ日も浅く大した成

果も挙がってはいませんけれ

ど、新年に当り紙上を借りて

新年明けましておめでとう

ございます。会員の皆様には

お忙やかに佳き新春をお迎え

おられたことと心からお慶

びを申し上げます。

新規も挙がってはいませんけれ

ど、新年に当り紙上を借りて

新年明けましておめでとう

ございます。会員の皆様には

お忙やかに佳き新春をお迎え

おられたことと心からお慶

びを申し上げます。

新規も挙がってはいませんけれ

ど、新年に当り紙上を借りて

新年明けましておめでとう

ございます。会員の皆様には

うことは正常なやり方とは思

われません。

そこで四月一日市担当部

署に前述の説明をし会員数を

配慮して補助額を算定交付し

て戴けないでしょかとお願

い致しましたところ、調査を

して考慮してみましょと回

答を戴きました。

一〇月二日担当部署を訪

ねお尋ね致しました。補助金

は東京都から交付されるもの

が主となつていて、都の指小

によって各クラブに配分して

検討してよりよい規約制

を改定する必要が生じまし

た。規約について深い知識を

有する会員から、この機会に

八老連の規約について全面的

に検討した方が良いと思うと

進言がありましたので、検討

資料の作成をお願い致しまし

た。衆知をあつめ、じっくり

話し合ひました。

一一〇月二日担当部署を訪

ねお尋ね致しました。補助金

は東京都から交付されるもの

が主となつていて、都の指小

によって各クラブに配分して

検討してよりよい規約制

補助金について

と回答がありました。

は、平成八年度名簿記載の実数であります。会員増強に努力をして会員を増やせば増やすほど一人当たりの補助額は低下するのです。

八老連会長は名目だけとは言え、それを会長や役員を選任して会計その他の事務処理をすると、補助金交付の申請をするとい

第三十四回ゲートボール大会

平成八年十月十六日
富士森陸上競技場

当日は好天気に恵まれて四

十人十コートが参加、四千一

人三試合の優勝争奪戦を行なつ十二コートに別れ、各チ

ーム三試合の優勝争奪戦を行なつコート優勝の得失点

で行い、コート優勝の得失点

团体树抗寒成績表(2回戦3月16日)

大和田4-6(勝率0.5) 甲井11-4-6(勝率1.5)

会員別	城川	6	5	4	3	2	初	勝計
6 城川	城	7	梅田	6	梅家	4	湯田	3
6 滝井	6	0	X	0				2
5 一谷	4	X	X	X				0
4 根本	4	X	X	X				0
3 山崎	3				X	X	0	1
2 宮原初					X	X	X	0
初	岩松初				X	0	X	1
勝計		2	3	2	3	2	2	14/4

元八五4-6(勝率0.5) 甲井4-6(勝率2)

会員別	甲井	6	5	4	3	2	初	勝計
6 元八	元八	6	7	三	X	6	梅田	3
6 山下	6	X	X	0				1
5 清水秀	5	X	X	0				1
4 大塚	4	0	X	X				1
3 山崎	2				0	X	0	2
2 八木初					0	0	X	2
初	東京初				X	X	X	0
勝計		2	3	1	1	2	2	11/2

甲木9-6(勝率0) 中野9-6(勝率1.5)

会員別	中野	6	5	4	3	2	初	勝計
6 中野	中野	6	中田	5	城部	4	木林	2
6 鈴木	6	X	X	X				0
5 谷原	5	0	0	X				2
4 熊	4	0	X	0				2
3 竹島	3				X	0	0	2
2 遠藤	2				X	X	X	0
初	湯川初				0	X	X	1
勝計		1	2	2	2	2	2	11/2

長原4-6(勝率0.5) 中野4-6(勝率1.5)

会員別	長原	6	5	4	3	2	初	勝計
6 長原	山本(鶴)	6	山原	5	鶴	金子	高津	3
6 小川	7	X	0	X				1
5 古井	3	0	X	0				2
4 長山	3	X	X	0				1
3 山崎	3				X	0	X	1
2 川村	2				0	0	X	2
初	佐久木初				X	0	0	2
勝計		2	2	1	2	0	2	9/9

(10)